



エフェクトリファレンスガイド

目次

はじめに	4
本書について	4
お知らせ	4
EQ/チャンネル系	5
PEQ (Parametric Equalizer)	5
パラメーター	5
用途別推奨設定例	5
SSMCS (Sweet Spot Morphing Channel Strip)	6
パラメーター	6
ダイナミクス系	8
GATE	8
パラメーター	8
用途別推奨設定例	8
COMP (COMPRESSOR)	9
パラメーター	9
用途別推奨設定例	9
COMPANDER-H/COMPANDER-S	10
パラメーター	10
用途別推奨設定例	10
DUCKER	11
パラメーター	11
用途別推奨設定例	11
M.B.COMP (MULTI-BAND COMPRESSOR)	12
パラメーター	12
用途別推奨設定例	12
ピッチ/ボーカル処理系	13
PITCH FIX	13
パラメーター	13
用途別推奨設定例	13
アンプ/ギター系	14
GUITAR AMP CLASSICS	14
パラメーター	14
キャビネットタイプと特徴	16
用途別推奨設定例	16
リバーブ系	17
REV-X	17
パラメーター	17
用途別推奨設定例	18
REV R3	18

パラメーター	18
用途別推奨設定例	19

ディレイ系 20

MONO DELAY	20
パラメーター	20
用途別推奨設定例	20
PING PONG DELAY	21
パラメーター	21
用途別推奨設定例	21

はじめに

本書について

このガイドは、ヤマハのミキサーやオーディオインターフェースのエフェクトでよく用いられるパラメーターや用語について説明しています。このガイドは、製品固有のガイドと合わせてお読みいただくことを想定して作っています。まずは製品固有のガイドをお読みいただき、パラメーターや用語についてさらに詳しく知りたい場合に、このガイドをご活用ください。

お知らせ

- このガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- このガイドで説明している機能やパラメーターには、お使いの製品に搭載されていないものもあります。
- このガイドは、本書制作時点での最新情報に基づいて説明しています。

EQ/チャンネル系

PEQ (Parametric Equalizer)

PEQ(パラメトリックイコライザー)は、音声信号の特定の周波数帯域を選択し、その帯域のゲイン(増減)や帯域幅(Q)を自由に調整できる高精度なイコライザーです。音質補正や音響空間の最適化、フィードバック抑制など、幅広い用途に対応します。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Frequency(フリケンシー)	ゲイン設定によってブースト/カット(増減)する中心周波数を設定します。	20.0 Hz~20.0 kHz
Gain(ゲイン)	フリケンシーで設定した周波数付近の信号レベルを、どの程度ブースト/カット(増減)するかを設定します。	-18.0 dB~+18.0 dB
Q(キュー)	ブースト/カット(増減)する帯域の幅を設定します。値が大きいかほど狭い帯域に影響します。	0.1~16.0
Filter Type	各バンドのフィルタータイプ(ピーク、シェルフ、HPF/LPF など)を選択します。	Peak、HighShelf、LowShelf、HPF、LPF
Bypass	各バンドまたは全体の PEQ 処理を無効化します。	On、Off
1-knob On/Off	1-knob コントロールの On/Off を設定します。	On、Off
1-knob Type	1-knob コントロールのタイプを設定します。	Intensity、Vocal、Loudness
1-knob Level	1-knob コントロールのレベルを設定します。	0~100

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカルの明瞭度向上	2.5 kHz を+3 dB、Q=1.2
低域のこもり除去	200 Hz を-4 dB、Q=1.0
フィードバック抑制	6.3 kHz を-12 dB、Q=10
スピーカー補正	80 Hz を+2 dB (Low Shelf)、10 kHz を+3 dB (High Shelf)

SSMCS (Sweet Spot Morphing Channel Strip)

SSMCS (Sweet Spot Morphing Channel Strip)は、Yamaha が開発したチャンネルストリップエフェクトで、コンプレッサーとイコライザーを組み合わせたエフェクトです。プロフェッショナルエンジニアのノウハウを凝縮したプリセットをベースに、1つのノブ操作で複数のパラメーターを同時に変化させる「Morphing」機能を搭載し、簡単かつ直感的に理想的な音作りが可能です。

SSMCS は、以下の2つの主要セクションで構成されています。

・COMP(コンプレッサー)

音量のピークを抑え、ダイナミクスを整えます。Morphing ノブにより、複数のコンプレッサーパラメーター(Ratio、Attack、Release、Knee など)を同時に調整できます。

・EQ(イコライザー)

Low/Mid/High の3バンド構成で、各帯域に対して周波数(F)、ゲイン(G)、Q(Midのみ)を設定できます。Low/HighはShelf型、MidはPeak型フィルターを採用しています。Morphing ノブにより、複数のイコライザーパラメーター(Frequency、Gain、Q)を同時に調整できます。

パラメーター

コンプレッサーとイコライザー共通

パラメーター名	説明	範囲例
Morphing	プリセットのかかり具合を設定します。	プリセット間連続変化
Sweet Spot Data	Sweet Spot Data を選びます。	設定によって変動

用途に適した Sweet Spot Data を呼び出し、Morphing パラメーターを調整して、最適なポイントを見つけてください。

COMP セクション

パラメーター名	説明	範囲例
Comp Drive	コンプレッサーのかかり具合を設定します。	0.00~10.0
Knee	スレッシュホールド付近にどの程度緩やかに圧縮を開始するかを設定します。	Soft、Medium、Hard
Ratio	コンプレッサーの効果量を設定します。	1.0:1~20:1~500:1、INF:1
Attack	コンプレッサー効果が効き始めるまでの時間を設定します。	0.092 ms~80.0 ms
Release	コンプレッサー効果から解放されるまでの時間を設定します。	9.3 ms~999.0 ms
Side Chain	コンプレッサーのレベル検出部分に効果するサイドチェーンフィルターを有効にします。	On、Off
SC-Q	Side Chain のブースト/カットする帯域の幅を設定します。値が大きいほど狭い帯域に影響します。	0.5~16.0

パラメーター名	説明	範囲例
SC-Freq.	Side Chain のカットオフ周波数を設定します。	20 Hz～20 kHz
SC-Gain	Side Chain の SC-Freq. で設定した周波数付近の信号レベルを、どの程度ブースト/カット(増減)するかを設定します。	-18 dB～+18 dB

EQ セクション

パラメーター名	説明	範囲例
Q	ブースト/カット(増減)する帯域の幅を設定します。値が大きいかほど狭い帯域に影響します。	0.5～16.0
Frequency	カットオフ周波数を設定します。ゲイン設定によってブースト/カット(増減)するカットオフ周波数を設定します。	20 Hz～20 kHz
Gain	フリケンシーで設定した周波数付近の信号レベルを、どの程度ブースト/カット(増減)するかを設定します。	-18 dB～+18 dB

バンド	周波数範囲	ゲイン範囲	Q	フィルタータイプ
Low	20 Hz～1 kHz	-18 dB～+18 dB	なし	Low Shelf
Mid	20 Hz～20 kHz	-18 dB～+18 dB	0.50～16.00	Peak
High	500 Hz～20 kHz	-18 dB～+18 dB	なし	High Shelf

ダイナミクス系

GATE

GATE は、設定したしきい値(Threshold)よりも小さい入力信号に対してゲートを閉じ、信号を減衰または遮断することで不要なノイズや環境音を除去するダイナミクス系エフェクトです。特にマイク入力時の静寂部分や環境ノイズのカットに有効で、配信や録音のクオリティ向上に貢献します。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Threshold	ゲートの効果がかかるしきい値のレベルを設定します。	-72.0 dB~0.0 dB
Range	入力信号が Threshold を下回ったときのゲートの閉じ具合(信号レベルの減衰量)を設定します。	$-\infty$ dB~0.0 dB
Attack	入力信号レベルが Threshold を超えてから、ゲートが開くまでの時間を設定します。	0.092 ms~80 ms
Hold	入力信号レベルが Threshold を下回った後に、ゲートを閉じ始めるまでの時間を設定します。	0.02 ms~1960.0 ms
Decay	入力信号が Hold の待ち時間を経た後、ゲートが閉じるまでの時間を設定します。	9.3 ms~999.0 ms

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル録音時のノイズ除去	Threshold: -45 dB/Range: $-\infty$ dB/Attack: 10 ms/Hold: 300 ms Decay: 200 ms
ライブ配信時の環境音カット	Threshold: -50 dB/Range: -12 dB/Attack: 5 ms/Hold: 500 ms Decay: 150 ms
楽器録音時の静寂部分の処理	Threshold: -40 dB/Range: -6 dB/Attack: 20 ms/Hold: 250 ms Decay: 100 ms

COMP (COMPRESSOR)

COMP(コンプレッサー)は、入力信号の音量が設定したしきい値(Threshold)を超えた部分に対して圧縮処理を行ない、音量の変化を整えるダイナミクス系エフェクトです。音のピークを抑えることで、全体の音量バランスを安定させ、聴きやすく、プロフェッショナルな仕上がりを実現します。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Threshold	コンプレッサーの効果がかかるしきい値のレベルを設定します。	-54.0 dB~0.0 dB
Ratio	コンプレッサーの効果量を設定します。	1.0:1~20:1~500:1、INF:1
Gain	コンプレッサーの出力レベルを設定します。	0.0~18.0 dB
Auto Makeup	圧縮によるゲインロスを自動補正します。	On、Off
Attack	入力信号レベルが Threshold を超えてから、コンプレッサーの効果が最大に達するまでの速さを設定します。	0.092 ms~80.00 ms
Release	入力信号が Threshold を下回ったあと、コンプレッサーの効果がなくなるまでの時間を設定します。	9.3 ms~999.0 ms
Knee	Threshold 付近にどの程度緩やかに圧縮を開始するかを設定します。 Soft: 自然に音量が変化します。 Medium: Hard と Soft の中間です。 Hard: はっきりと音量が変化します。	Soft、Medium、Hard

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル	Threshold: -40 dB/Ratio: 3:1/Attack: 20 ms/Release: 80 ms/Knee: Medium
ギター	Threshold: -35 dB/Ratio: 2:1/Attack: 10 ms/Release: 100 ms/Knee: Soft
ドラム	Threshold: -30 dB/Ratio: 5:1/Attack: 5 ms/Release: 150 ms/Knee: Hard

COMPANDER-H/COMPANDER-S

COMPANDER-H/COMPANDER-S は、コンプレッサー、エキスパンダー、リミッターを組み合わせた複合型ダイナミクスエフェクトです。音量の変化を抑えながら、環境ノイズの低減も同時に行なうことができ、配信や録音、ライブ演奏などにおいて安定した音質を提供します。

・COMPANDER-H

ノイズの減衰量が大きく、環境音の除去に優れたタイプです。静かな場面でのノイズ抑制に効果的です。

・COMPANDER-S

ノイズの減衰量が控えめで、自然な音質を保ちつつ軽度なノイズ処理を行なうタイプです。音楽的なニュアンスを重視する場面に適しています。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Threshold	コンプレッサーの効果がかかるしきい値のレベルを設定します。	-54.0 dB~0.0 dB
Ratio	コンプレッサーの効果量を設定します。	1.0:1~20:1
Attack	入力信号が3つの境界値レベルを超えた時、設定レベルに到達するまでの時間を設定します。	0~120 ms
Release	入力信号が3つの境界値レベルを超えた時、設定レベルが解除されるまでの時間を設定します。	5.0 ms~42.3 s
Out Gain	出力レベルを設定します。	-18 dB~0.0 dB
Width	コンプレッサーとエキスパンダーの境界レベルの幅を設定します。	1~90 dB

用途別推奨設定例

用途	タイプ	推奨設定例
ボーカル録音	COMPANDER-S	Threshold: -40 dB/Ratio: 2:1/Attack: 20 ms/ Release: 80 ms/Out Gain: -6 dB
ノイズ抑制重視の配信	COMPANDER-H	Threshold: -50 dB/Ratio: 5:1/Attack: 10 ms/ Release: 120 ms/Out Gain: -12 dB
楽器録音 (アコースティック)	COMPANDER-S	Threshold: -35 dB/Ratio: 1.5:1/Attack: 40 ms/ Release: 100 ms/Out Gain: -3 dB

DUCKER

DUCKER は、ある入力信号(トリガー)を検知して、音量を自動的に抑制(減衰)するエフェクトです。主に、ナレーションやボーカルが入った際に BGM を自動的に下げる用途などに使われ、手動でフェーダー操作を行なうことなく、自然なミックスバランスを実現します。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Ducker Source	ダッカーの効きを決めるために使用する信号を設定します。	任意の入力チャンネル
Threshold	ダッカーの効果がかかるしきい値のレベルを設定します。	-60 dB~0 dB
Range	ダッカーの効果がかかっているときの減衰量を設定します。	-70 dB~0 dB -∞ dB~0.0 dB
Attack	入力信号レベルが Threshold を超えてから、音量が下がる速さを設定します。	0.092 ms~80.00 ms
Decay	入力信号レベルが Threshold を下回った後、音量が元にもどる速さを設定します。	1.3 ms~5.0 s 9.3 ms~999.0 ms

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ナレーション入り BGM	Source: Mic IN/Threshold: -40 dB/Range: -12 dB Attack: 10 ms/Decay: 300 ms
会議音声の自動ミュート	Source: Voice IN/Threshold: -50 dB/Range: -∞ dB Attack: 5 ms/Decay: 500 ms
ライブ演奏中のトーク優先	Source: Vocal Mic/Threshold: -45 dB/Range: -6 dB Attack: 20 ms/Decay: 200 ms

M.B.COMP (MULTI-BAND COMPRESSOR)

MULTI-BAND COMPRESSOR は、音声信号を LOW/MID/HIGH の3つの周波数帯域に分割し、それぞれに独立したコンプレッション処理を行なうことで、より精密なダイナミクス制御を可能にするエフェクトです。帯域ごとの音量変化を抑えることで、配信や録音時のレベルの安定性を高め、聴きやすくバランスの取れたサウンドを実現します。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
1-knob On/Off	M.B.COMP の効果を一つのスライダーで操作する機能です。1-knob を On にすると、1-knob Level に応じて各バンドの Threshold、Ratio、Gain が調整できます。Attack、Release やクロスオーバー周波数は固定値になります。	On、Off
1-knob Level	1-knob コントロールのレベルを設定します。	0~48
Gain	対象バンドの音量を設定します。	-∞、-60 dB~+18 dB
L-M XOVER	LOW バンドと MID バンドのクロスオーバー周波数を設定します。	21.2 Hz~4.00 kHz
M-H XOVER	MID バンドと HIGH バンドのクロスオーバー周波数を設定します。	42.5 Hz~8.00 kHz
Bypass	対象バンドのコンプレッサーのバイパスを On/Off します。	On、Off
Attack Time	対象バンドのコンプレッサーのアタックタイムを設定します。入力信号が Threshold を超えてから、コンプレッサーの効果が最大に達するまでの時間を調整できます。	1 ms~200 ms
Release Time	コンプレッサー(全バンド共通)のリリースタイムを設定します。入力信号が Threshold を下回ったあと、コンプレッサーの効果がなくなるまでの時間を設定します。	10 ms~3000 ms
Threshold	対象バンドのコンプレッサーの Threshold を設定します。コンプレッサーの効果がかかるしきい値のレベルを調整できます。	-54 dB~-6 dB
Ratio	対象バンドのコンプレッサーの Ratio を設定します。コンプレッサーの効果量を調整できます。	1.0:1~20.0:1
Out Gain	全体の出力レベルを設定します。	-12 dB~+12 dB

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ライブ配信	LOW: Threshold -30 dB/Ratio 3:1/Gain +2 dB MID: Threshold -25 dB/Ratio 2.5:1/Gain +1 dB HIGH: Threshold -20 dB/Ratio 2:1/Gain 0 dB
ボーカル処理	LOW: 軽めの圧縮/MID: 明瞭さ重視/HIGH: サ行の耳障りを抑える
マスタリング	全帯域に対して均等な圧縮を行ない、音圧を安定化させる

ピッチ/ボーカル処理系

PITCH FIX

PITCH FIX は、入力された音声のピッチをリアルタイムで補正するエフェクトです。ボーカルやナレーションなどのピッチを自動的に修正し、安定したフレーズ感を実現します。さらに、フォルマント(声質)調整や MIDI 制御による補正対象音の指定など、柔軟な設定が可能です。

以下の 2 つの主要な処理を組み合わせ、ピッチを補正します。

- ・ **ピッチ手動補正:** ピッチとフォルマントを手動で設定した値に補正します。
- ・ **ピッチ自動補正:** 入力音声のピッチを指定したキーとスケールに合わせて自動的に補正します。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Coarse	ピッチ周波数のズレ具合を半音単位で設定します。	-12~+12
Fine	ピッチのズレ具合を 1 セント単位で設定します。	-50~+50
Formant	声質(フォルマント)を設定します。	-62~+62
Mix	音階補正する前と音階補正した後の音量バランスを設定します。	0~126
Key	音階補正の基準となるキーを選択します。	C~B
Scale	音階補正スケール(音階)を選択します。	Chromatic、Major、Minor、Pentatonic など
Note Low Limit	音階補正対象とする音域の下限値を設定します。	C-2~G8
Note High Limit	音階補正対象とする音域の上限値を設定します。	C-2~G8
Correction	音階補正の On/Off 切り替えを設定します。	On、Off
MIDI Control	MIDI コントロールのモード切り替えを選択します。	Off、Setting、Real Time
Speed	音階補正の追従速度を設定します。	0~100
Tolerance	ピッチ変化に対する感度を設定します。	0~100

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル補正(自然)	Key: C/Scale: Major/Speed: 60/Tolerance: 40/Mix: 100
ロボットボイス風	Key: C/Scale: Chromatic/Speed: 100/Tolerance: 0/Formant: +40
ナレーションの安定化	Correction: On/Speed: 30/Tolerance: 60/Note Limit: C2~C5

アンプ/ギター系

GUITAR AMP CLASSICS

GUITAR AMP CLASSICS とは、ヤマハがモデリング技術を駆使して開発したギターアンプシミュレーターです。それぞれ異なるサウンドキャラクターを持つ、CLEAN、CRUNCH、LEAD、DRIVE の 4 タイプが用意されており、幅広いジャンルや演奏スタイルに対応します。

・ CLEAN

トランジスタアンプ特有の、ハリのあるクリアなサウンドです。クリーントーンに最適です。

・ CRUNCH

軽い歪みを加えた、ブルースやロック向けのサウンドです。ビンテージ感のあるチューブアンプ風です。

・ LEAD

高ゲインで倍音が豊かな、チューブアンプサウンドです。リードギターに最適です。

・ DRIVE

強い歪みを持つ、ハードロック/メタル向けのサウンドです。幅広い歪み表現が可能です。

パラメーター

CLEAN/CRUNCH/DRIVE/LEAD の 4 タイプに共通

パラメーター名	説明	範囲例
Treble、Middle、Bass	それぞれ、高音域/中音域/低音域のレベルを調節します。	0~10
Presence	高音域の倍音を強調します。	0~10
Off/Gate	ノイズゲートの On/Off を切り替えます。	On、Off
Gate Level	ゲートがかかるレベルを調整します。	0~10
SP Type	SP TYPE を選択します。SP TYPE の詳細は「キャビネットタイプと特徴」を参照ください。	0~8
Mic Position	マイクの位置を設定します。	Center、Edge
Output	最終的な出力レベルを調節します。	-∞ dB~0 dB

CLEAN のみ

パラメーター名	説明	範囲例
Volume	入力レベルを調節します。	0~10
Distortion	歪み量を調節します。	0~10
Cho/OFF/Vib	エフェクトの On/Off を切り替えます。[Cho]に合わせるとコーラスが、[Vib]に合わせるとビブラートが、それぞれ On になります。	
Speed/Depth	[Vib]がオンのときに、ビブラートの速さと深さを設定します。 [Cho]がオンのときは機能しません。	0~10
Blend	原音とエフェクト音のバランス調整(CLEAN のみ)を設定します。	0.0~10.0

CRUNCH のみ

パラメーター名	説明	範囲例
Normal/Bright	サウンドのキャラクターを切り替えます。	
Gain	入力レベルを設定します。値が大きいほど歪みの量が多くなります。	0~10

LEAD のみ

パラメーター名	説明	範囲例
High/Low	サウンドのキャラクターを切り替えます。	
Gain	入力レベルを設定します。値が大きいほど歪みの量が多くなります。	0~10
Master	プリアンプの出力レベルを設定します。	0~10

DRIVE のみ

パラメーター名	説明	範囲例
Amp Type	サウンドのキャラクターを切り替えます。	
Gain	入力レベルを設定します。値が大きいほど歪みの量が多くなります。	0~10
Master	プリアンプの出力レベルを設定します。	0~10

キャビネットタイプと特徴

以下の表は、CLEAN/CRUNCH/DRIVE/LEAD の4タイプに共通する内容です。

SP TYPE	特徴	スピーカー構成
BS 4×12	ブリティッシュのフラットスタックタイプキャビネット。豊かな箱鳴りが特徴です。	12 インチ×4
AC 2×12	アメリカンのコンボタイプキャビネット。さまざまな音楽ジャンルに馴染む澄んだトーンが特徴です。	12 インチ×2
AC 1×12	アメリカンのコンボタイプキャビネット。アンサンブルの中で抜けのよいトーンが特徴です。	12 インチ×1
AC 4×10	アメリカンのコンボタイプキャビネット。伝統的なギターサウンドを連想させるシャープなトーンが特徴です。	10 インチ×4
BC 2×12	ブリティッシュのコンボタイプキャビネット。クランチサウンドとの相性がよく、レンジが広くてよく伸びる高音が特徴です。	12 インチ×2
AM 4×12	アメリカンのスタックタイプキャビネット。ハイパワーアンプとの相性がよく、音の輪郭がはっきりするのが特徴です。	12 インチ×4
YC 4×12	ヤマハFシリーズのコンボタイプキャビネット。豊かな中域とマイルドな高域が特徴です。	12 インチ×4
JC 2×12	日本のコンボタイプキャビネット。クリーンサウンドや空間系エフェクトとの相性がよく、豊かな中高域が特徴です。	12 インチ×2

用途別推奨設定例

用途	タイプ	推奨設定例
クリーンバックング	CLEAN	DISTORTION: 0/BLEND: 50/ TREBLE: 6/BASS: 5
ブルースソロ	CRUNCH	GAIN: 5/TREBLE: 7/MIDDLE: 6/ BASS: 5
ロックリード	LEAD	GAIN: 8/MASTER: 7/PRESENCE: 6/ SP TYPE: AC 4×10
メタルリフ	DRIVE	GAIN: 10/TREBLE: 8/BASS: 6/ GATE LEVEL: 7

リバーブ系

REV-X

REV-X は、ヤマハがプロオーディオ機器向けに開発した高品位なデジタルリバーブエフェクトです。従来の名機「REV5」「REV7」の流れを汲みつつ、単体機ではなく「アルゴリズム」として設計され、DSP 搭載機器や VST プラグインなどに広く採用されています。空気感の再現に優れ、世界中のエンジニアに愛用されているリバーブエンジンです。音場や目的に合わせて REV-X HALL、REV-X ROOM、REV-X PLATE の 3 種類を選択できます。

・ REV-X HALL

コンサートホールのような広がりとお興行きのある残響を再現します。壮大で豊かな空間感を演出します。

・ REV-X ROOM

スタジオや小規模な部屋を模した自然な残響です。楽器やボーカルの定位感を保ちつつ、空間の厚みを加えます。

・ REV-X PLATE

金属板を用いたクラシックなプレートリバーブをシミュレーションしています。明瞭で滑らかな残響が特徴で、ボーカル処理に最適です。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Reverb Time	残響の長さを調節します。Room Size と連動します。REV-X タイプによって調節範囲が異なります。	Hall: 0.103 s~31.0 s Room: 0.152 s~45.3 s Plate: 0.176 s~52.0 s *Room Size 0 (min)のときの最小値~ Room Size 31(max)のときの最大値
Initial Delay	残響がかかりはじめるまでの時間を調節します。	0.1 ms~200.0 ms
Decay	残響が鳴りはじめてから消えるまでの特性を調節します。	0~63
Room Size	残響の空間の広さを調節します。Reverb Time と連動します。	0~31
Diffusion	残響の密度や広がりを設定します。	0~10
HPF	残響の低音域が減衰する周波数を調節します。	20 Hz~8 kHz
LPF	残響の高音域が減衰する周波数を調節します。	1 kHz~20 kHz
Hi Ratio	高域残響の長さを設定します。	0.1~1.0
Low Ratio	低域残響の長さを設定します。	0.1~1.4
Low Freq	Low Ratio の基準となる周波数を設定します。	22 Hz~18 kHz

用途別推奨設定例

用途	タイプ	推奨設定例
ボーカル	Plate	Reverb Time: 1.8 s/Hi Ratio: 高
アコースティックギター	Plate	Reverb Time: 1.8 s/Hi Ratio: 高
ドラム	Room	Room Size: 小/Initial Delay: 20 ms
ストリングス	Hall	Reverb Time: 3.0 s/Diffusion: 高

REV R3

REV R3 は、1990 年代に開発されたヤマハのデジタルリバーブレーター ProR3 直系のアルゴリズムを採用したリバーブエフェクトです。Hall、Room、Plate の 3 タイプを搭載しています。

- ・ REV R3 Hall

コンサートホールのような広がりとお興行のある残響を再現します。壮大で豊かな空間感を演出します。

- ・ REV R3 Room

スタジオや小規模な部屋を模した、自然な残響です。楽器やボーカルの定位感を保ちつつ、空間の厚みを加えます。

- ・ REV R3 Plate

金属板を用いたクラシックなプレートリバーブをシミュレーションしています。明瞭で滑らかな残響が特徴で、ボーカル処理に最適です。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Reverb Time	残響の長さを調節します。	0.3 s~30.0 s
Initial Delay	残響がかかりはじめるまでの時間を調節します。	0.1 ms~200.0 ms
Hi Ratio	リバーブの高域成分の残響時間の REV TIME に対する比率を設定します。	0.1~1.0
Diffusion	残響の密度や広がりを設定します。	0~10
Density	残響の密度を設定します。	0~4
HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	Thru、21.2 Hz~8.00 kHz
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	50.0 Hz~16.0 kHz、Thru
ER/Reverb Delay	初期反射音からリバーブ音までのディレイタイムを設定します。	0.1 ms~200 ms
ER/Rev Balance	初期反射音とリバーブ音のレベルバランスを設定します。	E63>R~E<R63
Feedback Gain	イニシャルディレイのフィードバック量を設定します。	-99%~+99%

用途別推奨設定例

用途	タイプ	推奨設定例
ボーカル	Plate	Reverb Time: 1.5 s/Diffusion: 7/Hi Ratio: 0.8 LPF: 12 kHz
アコースティックギター	Room	Reverb Time: 1.2 s/Density: 3/HPF: 100 Hz/LPF: 10 kHz
ドラム	Hall	Reverb Time: 2.5 s/Initial Delay: 50 ms/Diffusion: 10 ER/Rev Balance: E=R
シネマティック(映画風)	Hall	Reverb Time: 4.0 s/Density: 4/Hi Ratio: 1.0/LPF: 16 kHz

ディレイ系















MONO DELAY

MONO DELAY は、入力信号に対して一定時間遅延させた音を加えることで、空間的な広がりやリズム感を演出するシンプルなディレイエフェクトです。モノラル構成で扱いやすく、ボーカルやギター、シンセなど幅広いソースに対応します。テンポ同期にも対応しており、楽曲の BPM に合わせたディレイタイム設定が可能です。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Delay	ディレイタイムを設定します。	0.1 ms~2700.0 ms 1.0 ms~1350.0 ms
Feedback Gain	遅延音の繰り返し量を設定します。	-99%~+99%
Hi Ratio	高域成分のフィードバック量を設定します。	0.1~1.0
HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	Thru、21.2 Hz~8 kHz
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	50 Hz~16 kHz、Thru
Sync	テンポ同期の On/Off を設定します。	On、Off
Note	テンポ同期時の音符単位でのディレイを設定します。	*1
BPM	テンポを設定します。	25~300

*1 Note は以下の値で計算されます。ただし最大値はテンポの設定によります。

 = 1/48
  = 1/24
  = 1/16
  = 1/12
  = 3/32
  = 1/8
  = 1/6
 = 3/16
  = 1/4
  = 3/8
  = 1/2
  = 3/4
  = 1/1
  = 2/1

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル	Delay: 240 ms/Feedback Gain: 15/LPF: 8.5 kHz/HPF: 150 Hz
ギター	Delay: 500 ms/Feedback Gain: 20/LPF: 10 kHz/HPF: 100 Hz
シンセ	Sync: On/Note: 1/4 分音符/Hi Ratio: 0.6

PING PONG DELAY

PING PONG DELAY は、ディレイ音が左右のチャンネル間を交互に跳ね返るように再生されるステレオディレイエフェクトです。空間的な広がりと動きを演出するため、ボーカルやシンセ、ギターなどに使用することで、楽曲にリズムカルな奥行きを加えることができます。

パラメーター

パラメーター名	説明	範囲例
Delay Time	ミリ秒単位でディレイタイムを設定します。テンポ同期時は Note/BPM で設定できます。	1.0 ms~1350.0 ms
Feedback Gain	フィードバックの量を設定します。	-99%~+99%
Hi Ratio	フィードバックの高域成分の量を設定します。	0.1~1.0
HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	Thru、21.2 Hz~8 kHz
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	50 Hz~16 kHz、Thru
Sync	テンポ同期の On/Off を設定します。	On、Off
Note	テンポ同期時の音符単位でのディレイを設定します。	*1
BPM	テンポを設定します。	25~300

*1 Note は以下の値で計算されます。ただし最大値はテンポの設定によります。

$\frac{1}{48}$ $\frac{1}{24}$ $\frac{1}{16}$ $\frac{1}{12}$ $\frac{3}{32}$ $\frac{1}{8}$ $\frac{1}{6}$

 $\frac{3}{16}$ $\frac{1}{4}$ $\frac{3}{8}$ $\frac{1}{2}$ $\frac{3}{4}$ $\frac{1}{1}$ $\frac{2}{1}$

用途別推奨設定例

用途	推奨設定例
ボーカル	Delay: 240 ms/Feedback Gain: 15/LPF: 8.5 kHz/HPF: 150 Hz
ギター	Sync: On/Note: 1/4 分音符/Hi Ratio: 0.6
シンセ	Delay: 500 ms/Feedback Gain: 20/LPF: 10 kHz/HPF: 100 Hz

